

第8回 縄文楽検定（中級編） 解答集

問題	解答	問題	解答	問題	解答
1	c	21	b	41	d
2	a	22	10 %	42	信濃川
3	a	23	a	43	b
4	b	24	a	44	a
5	d	25	馬高 遺跡	45	c
6	a	26	b	46	b
7	c	27	c	47	c
8	c	28	c	48	c
9	縄文 海進	29	a	49	火焰型土器
10	c	30	c	50	小林 達雄
11	c	31	b		
12	c	32	吉野屋 遺跡		
13	c	33	c		
14	a	34	道尻手 遺跡		
15	b	35	c		
16	b	36	国立歴史民俗 博物館		
17	道尻手 遺跡	37	まいぶん ポート		
18	d	38	三脚 石器		
19	c	39	a		
20	b	40	b		

（解説）

出題に用いたテキストとその略号は、以下のとおりです。

- ①＜縄文楽検定テキスト＞「縄文文化と火焰土器」（2008）＝「Ⅰ」
- ②新潟県立歴史博物館編「火焰土器の国新潟」（新潟日報事業社 2009）＝「火焰」
- ③＜縄文楽検定テキストⅡ＞「信濃川火焰街道 縄文の旅」（2011）＝「Ⅱ」

なお、問題文中、「火炎土器」「火焰土器」「火焰型土器」「火炎土器様式」などの用語が出てきますが、すべて使い分けをしています。

くわしくは、テキストⅠの9頁などをごらんください。

それでは、主な問題とその解答について簡単に解説します。

問1・2 aは著保内野遺跡（北海道函館市）、bは郷原遺跡（群馬県吾妻町）、cは西ノ前遺跡（山形県舟形町）、dは棚畑遺跡（長野県茅野市）から出土した土偶です。

問3 昭和11（1936）年の大晦日、長岡市関原町の近藤篤三郎によってこのあたりで発見されたと伝えられています。

問4 I-11頁、火焰-142頁。王冠型土器の突起のえぐりは必ず左側にあります。

問6 トチノミはアクが強く生では食べられないため、動物は食べられません。実が大きく縄文土器を使ってアク抜きができる縄文人の重要な食料となりました。

問7 細石刃は旧石器時代に作られた組合せ式の道具で、槍などに使われました。

問8 I-14頁、火焰-145頁にあります。

問17 II-24頁にあります。

問26 II21頁にあります。

問36 II-22頁にあります。十日町市森上遺跡出土の火焰型土器2点が貸し出されていた博物館です。